

「Otemachi One Garden」コンセプト

「Otemachi One Garden」には7つのゾーンがあり、都市の喧噪から身体と心を解放させてくれるリラックス空間が待っています。季節の移り変わりを身近に感じながら食事をしたり、木陰でビジネスミーティングをしたり、芝生広場でイベントを楽しんだり、訪れる人々に様々な価値を提供します。

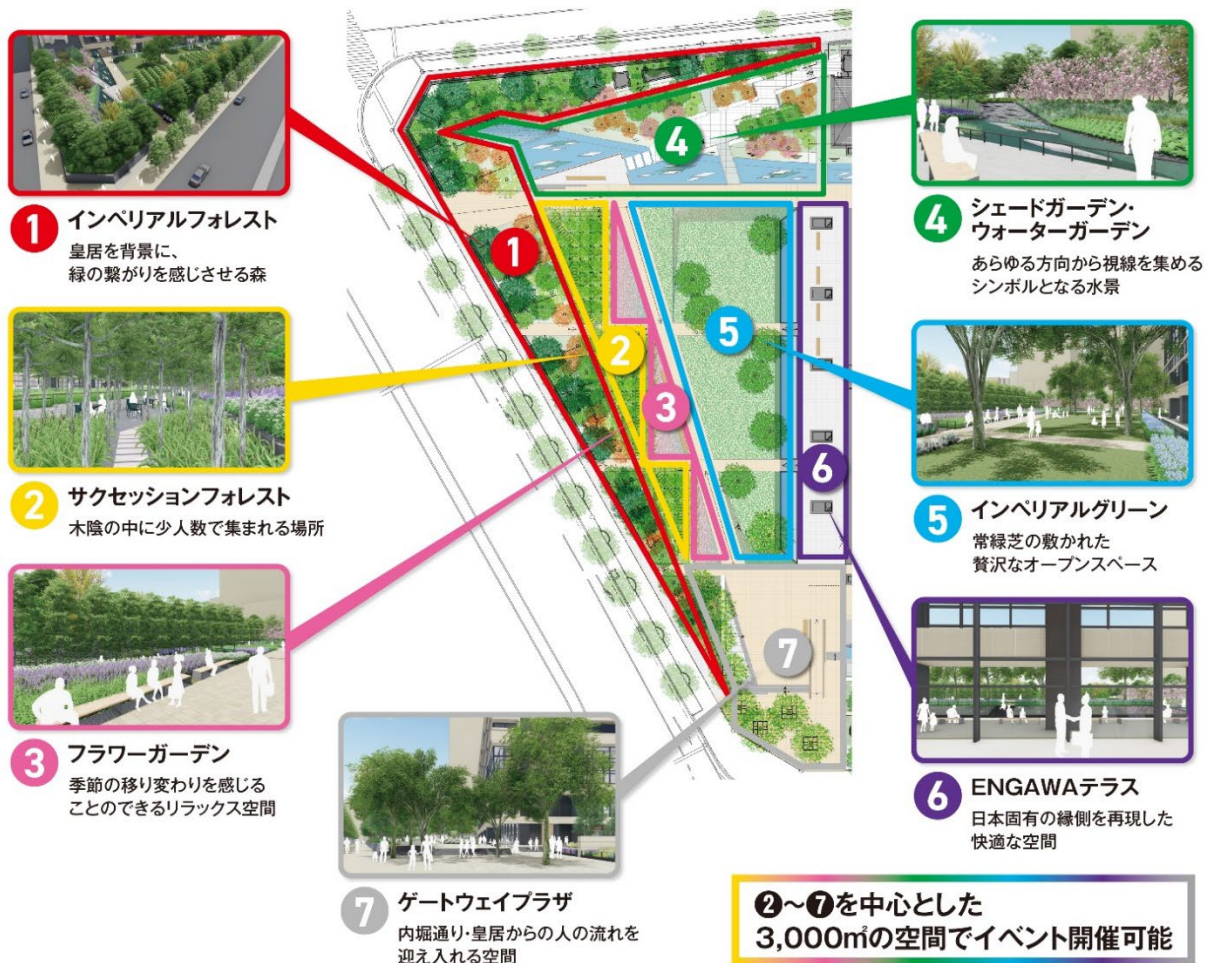
オフィスワーカーなどの来街者にとってはより豊かでイノベティブな時間を過ごす場となり、地域にとってはクールスポットの形成等の環境負荷低減効果を生むサステナブルな緑地空間となります。

コンセプト

より豊かに、イノベティブに、サステナブルに



7つのゾーン



サステナビリティへの貢献

(1)環境負荷軽減への貢献

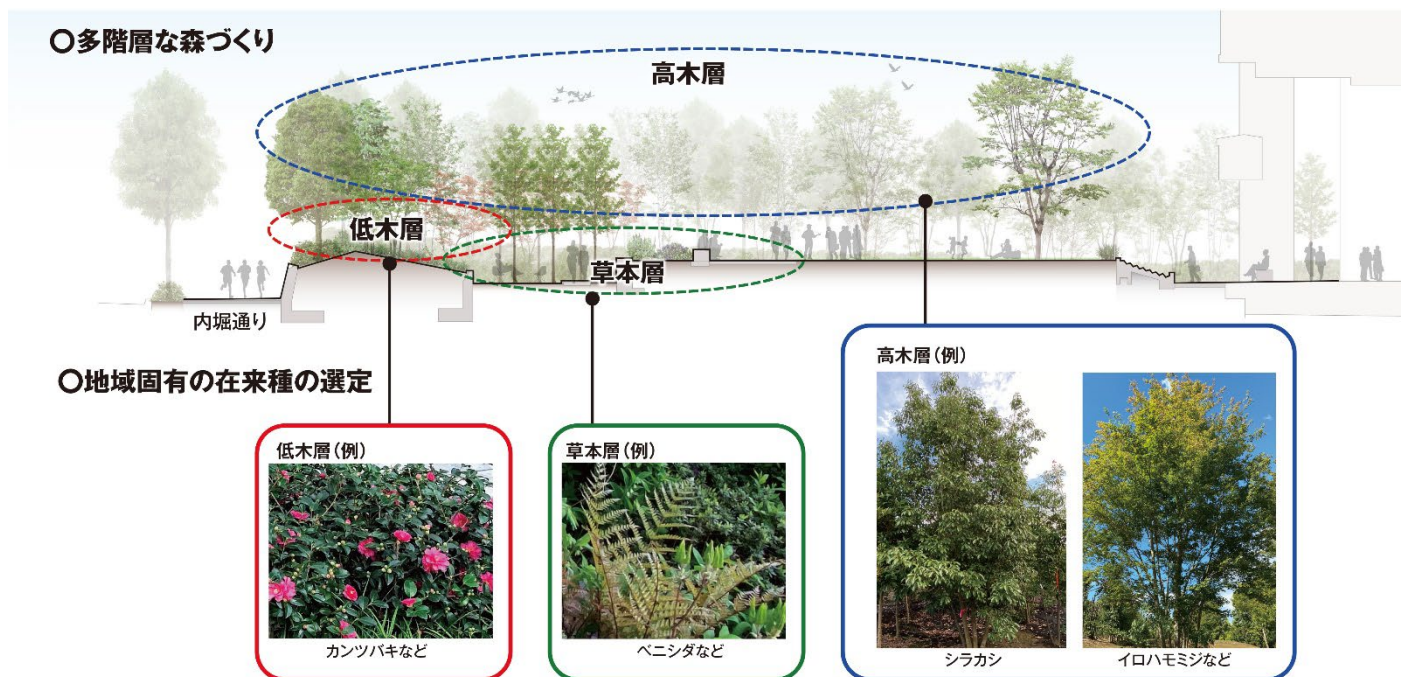
約 6,000 m²の大規模な緑地空間は、地表面の温度上昇を抑制し、クールスポットを形成します。

また、群植する中・高木約300本、低木約6,600本によるカーボンニュートラルへの貢献が期待されています。木材にはそれ自身にCO₂を蓄えて大気中に排出しない「炭素を固定する」効果があり、「Otemachi One Garden」の樹木本数および規格から、CO₂固定量を年間11トンと試算することができます。

(2)生物多様性への配慮

皇居の植生や地域の潜在植生に配慮しながら、シラカシやイロハモミジなどを用いた緑と水辺の空間を創出しています。高木種、低木種及び草本類が組み合わさった多階層な森は、皇居に生息する鳥や昆虫など多様な生物の生育環境の拡大に寄与します。内堀通り側には緩やかな起伏を配置し、その上部に常緑広葉樹を中心とした豊かな緑を設けることによって、皇居の植生との連続性に配慮しています。

また水辺には、皇居周辺に生息する昆虫や水鳥などの生息域拡充に寄与する水生動物が生息できる場を設けています。



※多階層な森

樹林内には樹木の葉によって光が少なくなり、光の条件に対応して階層構造が形成される。階層構造が発達し、空間構成が複雑になると、それぞれの空間特性に合わせて様々な生き物の生息が可能となる。

(3)環境学習の場の提供

大手町において整備される緑地を拠点に行われる「エコ体験ツアー」の環境教育イベント等を年間通して開催予定であり、大手町・丸の内・有楽町エリアにおける環境意識の向上に寄与します。

(4)グリーンインフラとしての活用

「Otemachi One Garden」は、三井物産と三井不動産が会員である「大手町・丸の内・有楽町地区 まちづくり協議会」にて策定された「大手町・丸の内・有楽町地区グリーンインフラ推進基本方針」の中で、グリーンインフラとして位置づけられています。

グリーンインフラとは、ハード・ソフト両面において自然環境の多様な機能を活用する取り組みで、持続的で柔軟なまちづくりに向けて各地で積極的に導入が進められているものです。特に、開発に伴い人々の憩いの場の拡充が求められる大手町エリアでは、「多様な空間を提供」「五感で感じる場を提供」「地区連携や新たな参画を創出」「社会とともに熟成」といった観点でグリーンインフラを活用することで、より快適で創造性にあふれる都市空間の創出が期待されます。

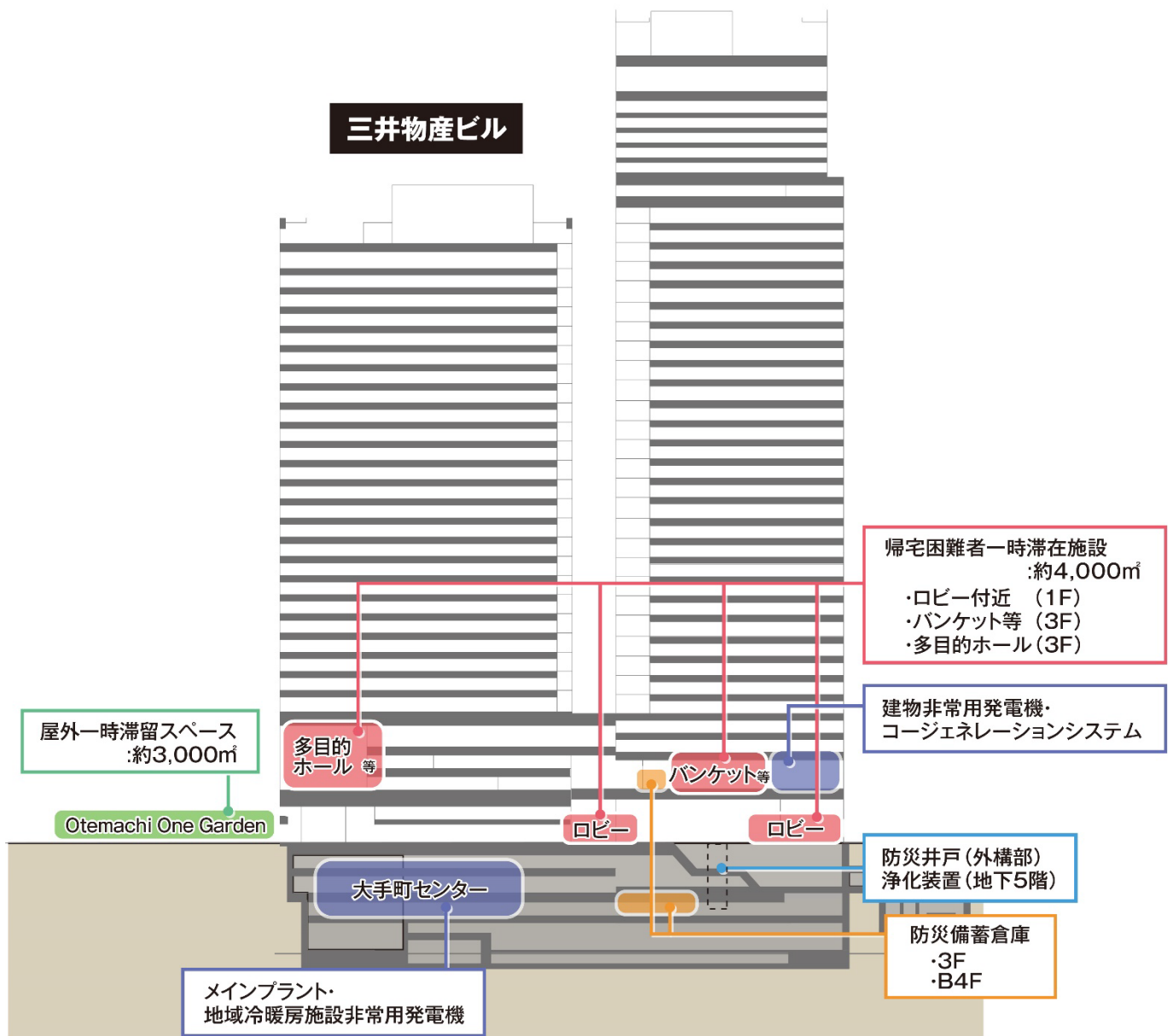
■大手町・丸の内・有楽町地区グリーンインフラ推進基本方針

<https://www.tokyo-omy-council.jp/wp/wp-content/uploads/2022/05/omy-greeninfra.pdf>

(5)防災機能の拡充

「Otemachi One」では、東京都帰宅困難者対策条例に基づく災害時の帰宅困難者のための「一時滞在施設」としてオフィスの1階ロビー部分やホール、ホテルなど最大約4,000㎡(約2,400人収容)を既に確保していますが、さらに「Otemachi One Garden」を活用することで、安全な滞留空間として機能する約3,000㎡の一時滞留スペースが確保されます。また、防災井戸の整備と浄化施設の併設などにより、災害時の飲料水供給が可能です。

Otemachi One タワー



<添付資料3>

オープニングセレモニー「Winter Bloom」

テーマは「花」で彩られるプロローグです。フラワーアーティスト、ニコライ・バーグマン氏が生み出す象徴的なフラワーディスプレイが「Otemachi One Garden」と融合し、夜に灯されるランタンやイルミネーションの穏やかな光は、趣のある空間を演出します。

「Otemachi One Garden」に訪れる方々の気持ちを温かくする様々なおもてなしをご用意してお待ちしております。

(1) オープニングセレモニー

開催日時: 2022年12月16日(金) 18:00～

イルミネーションの点灯式、ニコライ・バーグマン氏によるフラワーライブパフォーマンスを実施します。

(2) フラワーディスプレイ by Nicolai Bergmann

開催期間: 2022年12月16日(金)～2023年2月14日(火)

「多様性」「人々」「自然」「感謝」「特別」など様々な想いを1つに凝縮し、すべてを受け入れる「Otemachi One Garden」であること、そのガーデンが都心の中のリラックス空間であり続けたいという願いを表現したニコライ・バーグマン氏の高さ約3mのフラワーディスプレイを展示します。

(3) イルミネーション

開催期間: 2022年12月16日(金)～2023年2月14日(火)

木々を彩るイルミネーションやランタンによる、幻想的な夜の「Otemachi One Garden」をお楽しみいただけます。

(4) ウィンターマルシェ

開催期間: 2022年12月16日(金)～2022年12月25日(日)

冬を愉しむアイテムを揃えたマルシェを開催します。

その他様々なイベントを予定しています。

※詳細は決定次第、HPにて発表予定、コンテンツの追加、変更については随時HPにてお知らせいたします。

HP(Otemachi One): <https://otemachi-one.com/>

「Winter Bloom」特設サイトの公開は11月1日(火)予定です。



ニコライ・バーグマン氏

<https://www.nicolaibergmann.com/>



ニコライ・バーグマン オリジナルフラワーディスプレイ

※画像はイメージとなり、実際とは異なる場合がございます。



イルミネーション

※画像はイメージとなり、実際とは異なる場合がございます。



ウィンターマルシェ

※画像はイメージとなり、実際とは異なる場合がございます。

「Otemachi One」について

Otemachi One

所在地	東京都千代田区大手町一丁目2番1号
交通	東京メトロ丸ノ内線・東西線・千代田線・半蔵門線「大手町駅」、 都営三田線「大手町駅」直結
主要用途	オフィス、商業、多目的ホール、ホテル、駐車場、地域冷暖房施設
敷地面積	約20,900㎡
延床面積	約358,700㎡
階数	三井物産ビル:地上31階、地下5階 Otemachi One タワー:地上40階、地下5階
最高高さ	三井物産ビル:約160m Otemachi One タワー:約200m
設計・監理	日建設計・鹿島建設 設計共同企業体
施工	鹿島建設株式会社
デザイン アーキテクト	Skidmore, Owings & Merrill LLP (SOM)

Otemachi One Garden

敷地面積	約6,000㎡
設計	日建設計・鹿島建設 設計共同企業体
施工	鹿島建設株式会社
ランドスケープ デザイン	office ma
建物竣工	Otemachi One竣工 2020年2月23日(日) Otemachi One Garden竣工 2022年12月9日(金)予定
<p>【office ma】 office maは、サンフランシスコと東京にオフィスを構えるランドスケープデザインスタジオです。アメリカ、日本、中国など多様なアイデンティティを持つデザイナーが集まり多角的な視点でランドスケープを主に、世界中でアーバンデザイン、マスタープランニング、ディベロップメントストラテジー、サステナブルストラテジーなど多岐な分野において包括的なアプローチでオープンスペースの計画・デザインを行っています。社名であるoffice ma の“ma:間”は日本の伝統的な美の在り方であり、あらゆるモノの関係の中に存在する純粹で根本的な無の概念です。“ma:間”は、我々にとって大切なコンセプトであり、満たされない“間”に存在する無限の可能性を求め我々は日々プロジェクトを取り巻く沢山の要素に目を向けて場の可能性を導き出す作業を紡いでいます。</p>	